

四半期報告書

(第50期第2四半期)

自 平成25年7月1日

至 平成25年9月30日

株式
会社 **本じかん**

広島市西区商工センター七丁目3番9号

目 次

	頁
表紙	1
第一部 企業情報	2
第1 企業の概況	2
1 主要な経営指標等の推移	2
2 事業の内容	2
第2 事業の状況	3
1 事業等のリスク	3
2 経営上の重要な契約等	3
3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	3
第3 提出会社の状況	5
1 株式等の状況	5
(1) 株式の総数等	5
(2) 新株予約権等の状況	5
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	5
(4) ライツプランの内容	5
(5) 発行済株式総数、資本金等の推移	5
(6) 大株主の状況	6
(7) 議決権の状況	6
2 役員の状況	6
第4 経理の状況	7
1 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
四半期連結損益計算書	10
四半期連結包括利益計算書	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
2 その他	15
第二部 提出会社の保証会社等の情報	16

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成25年11月14日
【四半期会計期間】	第50期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社あじかん
【英訳名】	AHJIKAN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中谷 登
【本店の所在の場所】	広島市西区商工センター七丁目3番9号
【電話番号】	(082)277-7010 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 業務推進本部長 兼 経営管理部長 樋口 研治
【最寄りの連絡場所】	広島市西区商工センター七丁目3番9号
【電話番号】	(082)277-7011 (直通)
【事務連絡者氏名】	取締役 業務推進本部長 兼 経営管理部長 樋口 研治
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第49期 第2四半期連結 累計期間	第50期 第2四半期連結 累計期間	第49期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高（千円）	17,512,230	17,095,445	35,586,925
経常利益又は経常損失（△）（千円）	412,041	△60,033	991,904
四半期（当期）純利益又は四半期純損失 （△）（千円）	216,909	△103,674	488,250
四半期包括利益又は包括利益（千円）	178,554	85,621	744,633
純資産額（千円）	8,887,498	9,432,645	9,453,578
総資産額（千円）	17,099,098	17,268,689	17,314,826
1株当たり四半期（当期）純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額（△）（円）	28.50	△13.62	64.15
潜在株式調整後1株当たり四半期（当期） 純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（％）	52.0	54.6	54.6
営業活動によるキャッシュ・フロー （千円）	899,979	872,913	1,205,489
投資活動によるキャッシュ・フロー （千円）	△285,364	△638,792	△368,856
財務活動によるキャッシュ・フロー （千円）	△822,853	233,802	△1,031,190
現金及び現金同等物の四半期末（期末） 残高（千円）	1,222,461	1,716,245	1,245,072

回次	第49期 第2四半期連結 会計期間	第50期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額（△）（円）	19.23	△5.30

- （注）1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、主要な関係会社の異動は、以下のとおりです。

（販売部門）

当第2四半期連結会計期間において、新規設立により味堪香港有限公司（連結子会社）を連結の範囲に含めております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による金融緩和等の政策により、円安・株高が進み、緩やかながら景況感に改善の兆しが見られたものの、円安による物価上昇や米国の政策動向による影響、欧州政府債務問題など、景気の先行きは依然として不透明感を払拭しきれない状況で推移いたしました。

食品業界におきましても、原油価格や原材料価格は継続して高い水準にあり、消費意欲の持ち直しが期待されてはいるものの、長期化するデフレの影響から消費者の節約志向は依然として強く、業界を取巻く経営環境は厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは第九次中期経営計画の2年目をスタートさせ、変化の激しい時代に対応するため、第一に「商品の研究開発と技術開発の強化」、第二に「営業基盤の拡充と市場開拓」、第三に「利益構造の改善」、第四に「全社供給体制の強化と効率化」、第五に「経営効率・経営品質の向上」を重点施策とした取り組みを展開しております。

なお、セグメント別では営業部門におきましては、主要拠点での展示会開催や、各種イベントに合わせた販売活動、既存顧客への深耕開拓を積極的に行ってまいりましたが、競合他社との激しい価格競争などから当社主要顧客であるスーパーマーケットやコンビニエンスストア向けの需要が減少するなど厳しい状況で推移いたしました。

また、中国関係会社工場での生産品や、海外の委託生産品のコスト上昇に加え、円安による影響で仕入原価が大きく上昇し、業績を圧迫する状況が続いております。

一方、平成22年12月に新規事業の一環として立ち上げた「ごぼう茶」ならびにその関連製品の売上高につきましても、前年同四半期を上回る状況ではあるものの、当初見込みをやや下回る状況で推移いたしました。

他方、生産部門におきましては、省エネ活動などによる変動費の抑制を図ってまいりましたが、自社製造製品の売上伸び悩みに伴う生産稼働率の低下に加え、当社主要原材料である鶏卵・干瓢・椎茸価格が需給の関係などから前年同四半期に比べ大きく上昇しており、また、原油価格や穀物価格の高止まりに起因した副材料・補助材料費も高値で推移するなど、製造原価率は前年同四半期を大きく上回る状況で推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は17,095百万円（前年同四半期比2.4%減少）、営業損失は114百万円（前年同四半期は営業利益468百万円）、経常損失は60百万円（前年同四半期は経常利益412百万円）となり、四半期純損失は103百万円（前年同四半期は四半期純利益216百万円）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ46百万円減少し17,268百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ429百万円減少し9,098百万円となりました。主な増減要因は、現金及び預金の増加471百万円、受取手形及び売掛金の減少1,004百万円などです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ383百万円増加し8,169百万円となりました。主な増減要因は、用地取得に伴う土地の増加180百万円、有形・無形固定資産の減価償却の進行に伴う減少などです。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ25百万円減少し7,836百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ207百万円減少し6,836百万円となりました。主な増減要因は、支払手形及び買掛金の増加260百万円、短期借入金の増加206百万円、未払法人税等の減少277百万円、その他の流動負債に含まれる未払金の減少246百万円などです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ182百万円増加し1,000百万円となりました。主な増減要因は、設備投資などに伴う長期借入金の増加188百万円、リース債務の返済に伴う減少14百万円などです。

なお、当第2四半期連結会計期間末の借入金残高は、前連結会計年度末に比べ394百万円増加し3,128百万円となっております。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ20百万円減少し9,432百万円となりました。主な増減要因は、為替換算調整勘定の増加176百万円、剰余金の配当による減少106百万円、四半期純損失の計上103百万円などです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末とほぼ同等の54.6%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ471百万円増加し1,716百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、872百万円（前年同四半期比3.0%減少）となりました。これは、税金等調整前四半期純損失の計上64百万円があったものの、減価償却費272百万円、売上債権・たな卸資産・仕入債務を合計した運転資金面での資金獲得1,212百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、638百万円（前年同四半期比123.9%増加）となりました。これは、生産設備の増強投資・メンテナンス投資、用地取得などが主な内容となっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、233百万円（前年同四半期は822百万円の使用）となりました。これは長期借入金の約定返済205百万円やリース債務の返済40百万円などによる減少要因もありましたが、短期運転資金を目的とした短期借入金の増加200百万円や、政策的な借入実行による長期借入金の増加400百万円が主な増加要因となったためであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、176百万円です。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,000,000
計	16,000,000

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	7,700,000	同左	東京証券取引所市場第二部	単元株式数 100株
計	7,700,000	同左	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	—	7,700,000	—	1,102,250	—	1,098,990

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
(株)足利興産	広島市中区白島北町3番14号	1,934	25.12
あじかん三栄持株会	広島市西区商工センター七丁目3番9号	655	8.50
(株)広島銀行	広島市中区紙屋町一丁目3番8号	363	4.71
あじかん株式持株会	広島市西区商工センター七丁目3番9号	344	4.47
(株)山口銀行	山口県下関市竹崎町四丁目2番36号	214	2.78
(株)三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内二丁目7番1号	192	2.50
明治安田生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内二丁目1番1号	158	2.05
(株)ベストローンカトー	香川県観音寺市坂本町五丁目17番17号	151	1.96
西川ゴム工業(株)	広島市西区三篠町二丁目2番8号	150	1.94
広島海苔(株)	広島県安芸郡海田町国信一丁目3番54号	139	1.81
計	—	4,303	55.88

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 88,900	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 7,610,800	76,108	—
単元未満株式	普通株式 300	—	—
発行済株式総数	7,700,000	—	—
総株主の議決権	—	76,108	—

② 【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有株 式数 (株)	他人名義所有株 式数 (株)	所有株式数の合 計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
(株)あじかん	広島市西区商工セン ター七丁目3番9号	88,900	—	88,900	1.15
計	—	88,900	—	88,900	1.15

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,255,072	1,726,245
受取手形及び売掛金	* 5,247,003	* 4,242,569
商品及び製品	1,966,223	2,029,054
仕掛品	3,232	7,280
原材料及び貯蔵品	760,493	782,130
繰延税金資産	160,848	161,280
その他	287,030	339,378
貸倒引当金	△151,201	△189,229
流動資産合計	9,528,703	9,098,710
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,587,717	1,580,566
機械装置及び運搬具（純額）	1,109,733	1,100,219
土地	2,960,387	3,140,466
リース資産（純額）	74,473	72,974
その他（純額）	209,954	327,029
有形固定資産合計	5,942,267	6,221,256
無形固定資産		
ソフトウェア	111,746	106,405
リース資産	60,982	55,292
その他	27,098	31,176
無形固定資産合計	199,827	192,875
投資その他の資産		
投資有価証券	756,335	790,349
その他	922,058	1,011,213
貸倒引当金	△34,366	△45,715
投資その他の資産合計	1,644,027	1,755,847
固定資産合計	7,786,123	8,169,979
資産合計	17,314,826	17,268,689

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	* 2,568,839	* 2,829,152
短期借入金	2,512,300	2,719,000
リース債務	73,563	65,642
未払法人税等	318,883	41,422
賞与引当金	272,000	308,000
役員賞与引当金	31,117	15,178
その他	1,267,140	857,631
流動負債合計	7,043,844	6,836,025
固定負債		
長期借入金	221,000	409,000
リース債務	135,233	120,569
繰延税金負債	13,141	26,345
退職給付引当金	71,165	56,907
役員退職慰労引当金	329,342	340,501
資産除去債務	46,020	45,194
その他	1,500	1,500
固定負債合計	817,402	1,000,017
負債合計	7,861,247	7,836,043
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,102,250	1,102,250
資本剰余金	1,098,990	1,098,990
利益剰余金	7,153,656	6,943,427
自己株式	△64,300	△64,300
株主資本合計	9,290,596	9,080,367
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	177,696	198,266
繰延ヘッジ損益	—	△7,993
為替換算調整勘定	△14,713	162,005
その他の包括利益累計額合計	162,982	352,278
純資産合計	9,453,578	9,432,645
負債純資産合計	17,314,826	17,268,689

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	17,512,230	17,095,445
売上原価	13,112,020	13,111,288
売上総利益	4,400,209	3,984,156
販売費及び一般管理費	※ 3,931,647	※ 4,098,278
営業利益又は営業損失(△)	468,562	△114,121
営業外収益		
受取利息	900	683
受取配当金	5,229	7,158
為替差益	—	32,353
通貨スワップ評価益	24,328	—
長期為替予約評価益	—	24,106
持分法による投資利益	6,205	—
その他	12,473	8,257
営業外収益合計	49,137	72,559
営業外費用		
支払利息	16,498	13,792
為替差損	43,681	—
長期為替予約評価損	44,248	—
持分法による投資損失	—	1,915
その他	1,228	2,763
営業外費用合計	105,658	18,472
経常利益又は経常損失(△)	412,041	△60,033
特別利益		
投資有価証券売却益	895	—
特別利益合計	895	—
特別損失		
固定資産除却損	7,416	4,520
特別損失合計	7,416	4,520
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	405,520	△64,554
法人税、住民税及び事業税	211,471	30,579
法人税等調整額	△22,861	8,539
法人税等合計	188,610	39,119
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	216,909	△103,674
四半期純利益又は四半期純損失(△)	216,909	△103,674

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	216,909	△103,674
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△53,554	20,570
繰延ヘッジ損益	—	△7,993
為替換算調整勘定	10,533	127,145
持分法適用会社に対する持分相当額	4,665	49,573
その他の包括利益合計	△38,355	189,296
四半期包括利益	178,554	85,621
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	178,554	85,621
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	405,520	△64,554
減価償却費	273,906	272,300
賞与引当金の増減額(△は減少)	69,000	36,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,941	△15,939
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	12,611	11,158
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△15,694	△14,257
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,287	49,376
持分法による投資損益(△は益)	△6,205	1,915
受取利息及び受取配当金	△6,129	△7,842
支払利息	16,498	13,792
投資有価証券売却損益(△は益)	△895	—
通貨スワップ評価損益(△は益)	△24,328	—
有形固定資産除却損	7,416	4,520
売上債権の増減額(△は増加)	△81,895	998,825
たな卸資産の増減額(△は増加)	134,151	△39,746
仕入債務の増減額(△は減少)	307,379	253,534
未収入金の増減額(△は増加)	4,136	9,774
未払金の増減額(△は減少)	△26,612	△103,076
未払消費税等の増減額(△は減少)	18,882	△84,757
その他	30,097	△143,920
小計	1,105,610	1,177,102
法人税等の支払額	△205,630	△304,188
営業活動によるキャッシュ・フロー	899,979	872,913
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△3,781	△4,360
投資有価証券の売却による収入	15,499	—
有形固定資産の取得による支出	△303,044	△583,517
無形固定資産の取得による支出	△8,694	△32,886
利息及び配当金の受取額	14,353	12,613
その他	304	△30,641
投資活動によるキャッシュ・フロー	△285,364	△638,792
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△400,000	200,000
長期借入れによる収入	—	400,000
長期借入金の返済による支出	△273,400	△205,300
利息の支払額	△14,910	△14,304
リース債務の返済による支出	△43,556	△40,497
自己株式の取得による支出	△80	—
配当金の支払額	△90,906	△106,095
財務活動によるキャッシュ・フロー	△822,853	233,802
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,297	3,248
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△206,941	471,172
現金及び現金同等物の期首残高	1,429,402	1,245,072
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,222,461	※ 1,716,245

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第2四半期連結会計期間より、新規設立により味堪香港有限公司を連結の範囲に含めております。

(四半期連結貸借対照表関係)

※ 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が前連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	15,503千円	一千円
支払手形	116,615	—

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
給料手当	833,269千円	843,691千円
賞与引当金繰入額	207,000	194,000
役員賞与引当金繰入額	13,367	13,432
退職給付費用	74,190	74,488
役員退職慰労引当金繰入額	12,611	11,158
貸倒引当金繰入額	2,953	50,994
荷造運賃	976,331	986,141

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	1,332,461千円	1,726,245千円
預金期間が3ヵ月を超える定期預金	△110,000	△10,000
現金及び現金同等物	1,222,461	1,716,245

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	91,333	12.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)
配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	106,554	14.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	営業部門	生産部門			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	17,512,230	—	17,512,230	—	17,512,230
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	442	5,045,069	5,045,511	△5,045,511	—
計	17,512,672	5,045,069	22,557,741	△5,045,511	17,512,230
セグメント利益	1,185,052	287,688	1,472,740	△1,004,178	468,562

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,004,178千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用
△1,018,499千円及びたな卸資産の調整額27,510千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	営業部門	生産部門			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	17,095,445	—	17,095,445	—	17,095,445
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,077	5,226,867	5,227,944	△5,227,944	—
計	17,096,522	5,226,867	22,323,389	△5,227,944	17,095,445
セグメント利益	984,639	146,730	1,131,369	△1,245,490	△114,121

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,245,490千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,222,359千円及びたな卸資産の調整額△1,333千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期 純損失金額(△)	28.50円	△13.62円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額(△) (千円)	216,909	△103,674
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損 失金額(△)(千円)	216,909	△103,674
普通株式の期中平均株式数(株)	7,611,072	7,611,039

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月14日

株式会社あじかん

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小松原 浩平 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 千々松 英樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社あじかんの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社あじかん及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成25年11月14日
【会社名】	株式会社あじかん
【英訳名】	AHJIKAN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中谷 登
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	広島市西区商工センター七丁目3番9号
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長中谷登は、当社の第50期第2四半期（自平成25年7月1日 至平成25年9月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。